

技術交流会

『東北大学に学ぶMEMSの戦略：研究から事業化まで』

この度、東北地区におけるMEMS開発拠点の東北大学 試作コインランドリおよび製品化に取り組んでおられる株式会社ムス・コアによる「MEMS技術の研究から事業化」について講演いただきます。皆様がたの研究開発にお役にたてると考えていますので、奮ってご参加のほどお願いいたします。

日 時：2017年6月14日（水） 14時30分～16時40分

場 所：京都大学 吉田キャンパス 国際科学イノベーション棟
3階 ミーティングルーム 3A-3B

募集人数：20名（先着順）

参加費：無料

●プログラム●

挨拶	(14:30-14:40)
京大ナノハブ 実施責任者 教授 田畑 修	
「東北大学試作コインランドリの実際」	(14:40-15:40)
東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター	
准教授 戸津 健太郎	
「MEMSの事業戦略と運営推移」	(15:50-16:40)
株式会社ムス・コア 代表取締役 本間 孝治	

参加申込先：kyodai-hub@saci.kyoto-u.ac.jp

電 話：075-753-5231

担 当：松嶋 朝明

申込期限：6月9日（金）17時まで

**** 定員に達しましたら締切ります**

主催：京都大学ナノテクノロジーハブ拠点

共催：微細加工プラットフォーム 代表機関

有機機能材料のリソグラフィ加工コンソーシアム

京都大学工学研究科 附属桂インテックセンター ナノミクス研究部門

講演題目；東北大学試作コインランドリの実際

講師：東北大学マイクロシステム融合研究開発センター
准教授 戸津健太郎

【概要】

試作コインランドリは遊休となっていたクリーンルームと半導体製造装置を活用した設備共用サービスである。MEMS、半導体のほか、光部品、材料など幅広い分野において、2010年の開始以降200社以上の企業が利用している。受託加工は原則行っておらず、利用者自らが各装置を使って行う試作開発を最大限支援する仕組みである。制約を極力設けず、利用者にとって敷居の低い設備となるように心掛けている。地域企業と連携した支援も多く、試作から生産に至る一貫した支援により、利用者の役に立って喜んでもらえるような運営を目指している。講演では試作コインランドリの運営方法、他機関との連携、製品化の事例などを紹介する。

講演題目：MEMSの事業戦略と運営推移

講師：株式会社ムス・コア 代表取締役社長 本間孝治

【概要】

MEMSは大規模投資を必要としながら製品の多くが多品種少量ゆえに事業化が難しく、戦略が描けずに大企業でも参入し難い領域でもある。このMEMS事業にムスコアは零細なりの事業戦略を基に東北大学発ベンチャーとして2001年に創設された、その後、数回の増資を得て6インチ開発ラインを整備し現状に至るが、以来15年、数度にわたる経営破綻の危機を乗り越えながらも2012年に黒字化を達成しその後は黒字基調の運営を続けている。その間に生じた危機の多くは自主技術だけでは超えられないものや経営戦略に関わるものであり、東北大学の研究成果やコインランドリとの共存共栄戦略が極めて有効な働きをしている。

本講演では“躍進するためには生き延びることが必須”として事業変遷してきた経緯と本年度に“躍進への再チャレンジ”に少し舵を切り始めた状況について報告する。